



発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会

〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内 TEL 54-4540 FAX 51-1880

ホームページ <http://www.owariasahishakyo.jp/> 社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧になれます。

法人化50周年記念 PR動画を制作しました



▲令和4年4月採用の国会職員

社会福祉協議会では、地域で困りごとを抱えている人や助けを必要としている人などの生活課題を解決できるように、市民の皆さんや行政などと協力して地域福祉の推進に取り組んでいます。

本会も地域福祉の推進のため、様々な事業や活動に長年取り組んできましたが、令和2年10月に法人化50周年を迎えました。そのことを記念し、この度、現在の地域福祉活動推進部門事業の様子を収めたPR動画を制作しました。

動画は気軽に視聴できるよう、プロローグとエンディングを含めて全編を8シーンに分け、事業担当者にフォーカスしたストーリー仕立ての動画となっています。

この動画をご覧いただき、本会がどのような仕事をしているのかを知ってもらうことにより、本会をもっと身近な存在として認識していただければ、幸いです。

この動画は、本会のホームページからご覧になれるほか、右の二次元バーコードからご覧いただくことができます。ぜひ、ご覧ください。



▲動画はこちらの二次元バーコードからご覧いただけます

contents (主な項目)

- 法人化50周年記念PR動画を制作しました
- 令和3年度社会福祉協議会事業報告及び決算
- あさひ支えあいサロン開設助成事業
- あさひ生活応援サポーター養成講座
- ボランティアセンターからのお知らせ
- 公開プレゼンテーションによる助成事業

- 知るサポだよりNo.29
- 敬老肖像写真の贈呈
- 脳トレで認知症予防「脳の健康教室」でらくらく楽習
- 赤い羽根協力店の募集
- 赤い羽根協力店の紹介
- 寄付者一覧

令和3年度社会福祉協議会事業報告及び決算

6月7日に理事会、同22日に評議員会を開催し、令和3年度本会事業報告及び決算が承認されました。

■ 事業報告 ■

法人運営事業

理事会4回/評議員会3回/監査会1回/会員募集事業(一般2,403件、法人143件)/地域福祉活動計画推進会議1回・校区懇談会5回

企画・広報事業

社協だより発行(年4回、全戸配布)/法人化50周年記念本会PR動画制作(DVD4枚、BD2枚)

福祉のまちづくり事業

校区社会福祉推進協議会助成(9校区、委員数656人)/ボランティア連絡協議会加入団体助成(22団体)/障がい者団体等支援(3団体)/ボランティア給食サービス(75歳以上のひとり暮らし高齢者延べ362食)/福祉協力校助成(全小・中学校、旭野高等学校)/福祉実践教室開催(5校、594人)/福祉教育講座開催(10人)/災害ボランティアコーディネーター養成講座開催(23人)/フードドライブ事業(年2回)

車いす等貸出事業

車いす貸出(延べ538台)/車いす専用車貸出(72件)

ボランティアセンター事業

ボランティア相談(213件)/ボランティア登録(75団体1,810人、個人51人、27施設)/ガイドヘルプボランティア養成講座開催(15人)/地域の居場所づくりボランティアスタート講座(6人)/ボランティアサロン開催(延べ72人)

共同募金配分金事業

敬老肖像写真贈呈(80歳以上夫婦13組、90歳以上長寿者7人)/シニアクラブ連合会事業支援/ふれあいいきいきサロン助成(3か所)/点訳・音訳・要約筆記サービス事業支援/おもちゃ図書館開設/社会を明るくする運動支援/私立幼稚園・保育園図書購入助成(9園)/民間学童クラブ助成(7施設)/子育てサロン支援(3か所)/福祉のまちづくり推進助成事業(2団体)/テーマ設定型事業(車いす9台購入)/要保護・準要保護家庭児童支援(715人)/児童養護施設の支援(69人)/活動助成団体及び施設(各校区社会福祉推進協議会、ジュニアリーダーズク

ラブ、ボーイスカウト、ガールスカウト、交通少年団、ひまわり、くすの木、ちーとい、アトリエひまわり、ひまわりホームⅡ、にこまる、よつ葉ハウス、心暖、ホワイトB、ほまれの家尾張旭店、アニモホームゆうほう、アニモホームつばさ、たいようの家、このき尾張旭校、チャイルドサポート～森のまち～、おこめ、そらのとり、児童発達支援glee尾張旭教室、障がい児通所施設Flocorir、ミロアル、大和荘)

資金貸付事業

生活福祉資金貸付相談(1,361件)/ひまわり資金貸付相談(49件)/行旅困窮者援護相談(1件)/生活困窮者支援(フードバンク利用79回)

脳の健康教室運営事業(7人)

紙おむつ給付事業(775人)

日常生活自立支援事業

相談(28件)/利用者(11人)

生活支援コーディネーター事業

あさひ生活応援サポーター登録(83人)/あさひ生活応援サービス事業利用(延べ201件)/あさひ生活応援サポーター養成講座開催(1回、12人)/あさひ支えあいサロン開設助成(6か所)

居宅介護支援事業

介護サービス計画作成(利用者延べ1,748人)/介護予防計画作成(利用者延べ290人)

地域包括支援センター事業

高齢者総合相談(延べ8,415件 ※うち、虐待・虐待の疑いを含む件数延べ800件)/認知症サポーター養成講座(12回、延べ461人)/地域ケア会議(個別地域ケア会議15回、ケアマネジメント支援地域会議2回)/あさひ介護者のつどい(2回、延べ16人)

認知症初期集中支援推進事業

チーム会議(9回)/支援対象者(8人 ※うち1人は支援継続)

指定介護予防支援事業

介護予防プラン請求(包括作成延べ3,984件、委託延べ6,196件)

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため延期または中止となった事業

法人化50周年記念第51回尾張旭市社会福祉大会/福祉マインドフェア尾張旭2021/クッキングボランティア講座/ウェルフェアボウリング大会支援

■ 令和3年度 社会福祉協議会 収支決算 ■

収入 235,564,602円 支出 225,033,885円

差引 10,530,717円(令和4年度繰越金)

収 入 (単位:円)

会費	3,503,000
寄附金	3,418,227
経常経費補助金	68,877,032
市補助金	64,829,904
共同募金配分金	3,838,128
県社協補助金	209,000
受託金	95,774,043
市受託金	88,254,600
県社協受託金	6,265,892
その他	1,253,551
貸付事業	258,000
介護保険事業	48,343,311
基金・積立金取崩収入	5,393,723
前期未支払資金残高(前年度繰越金)	8,852,620
その他	1,144,646
収入計	235,564,602

支 出 (単位:円)

社会福祉事業	
法人運営事業	70,326,858
企画広報事業	2,224,823
福祉のまちづくり事業	4,779,078
ボランティアセンター事業	5,477,358
共同募金配分金事業	4,797,816
資金貸付事業	6,246,282
日常生活自立支援事業	504,776
生活支援コーディネーター事業	7,762,970
その他	1,005,747
公益事業	
居宅介護支援事業	27,986,752
地域包括支援センター事業	93,921,425
支出計	225,033,885

※収入については、勘定科目ごとに、支出については事業内容ごとにそれぞれ取りまとめて掲載しております。

地域のサロン活動の立ち上げを応援します!

～あさひ支えあいサロン開設助成事業～

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などの閉じこもりや孤立を防ぐため、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用し、地域の皆さんによる出会いの場づくりを支援します。

【助成対象活動】市内で行う、次の要件のすべてを満たすサロン活動の立ち上げに対し、開設資金を助成します。

- ①実施回数：原則として、月1回以上
- ②活動内容：参加者の実情などに応じた多様な活動
- ③参加者数：概ね5人以上
- ④会場：公民館などの公共施設や個人宅など多様な形態で可
- ⑤参加対象者：活動地域に在住し、交流や見守りが必要と思われる高齢者やその介護家族など

【助成金額】1か所につき、上限5万円

サロン活動紹介⑩



【稲葉 ふれあいサロン】

令和3年9月に本事業を活用していただきました。

①活動拠点 ②活動日時 ③参加費 ④活動内容 ⑤目的・特色

- ①中央通老人いこいの家
- ②第1・3火曜日(午前10時～11時30分)
- ③1回200円
- ④コーヒー・紅茶・お茶を飲みながら懇談、レクリエーションなど
- ⑤コーヒーや紅茶、お茶を飲みながらおしゃべりをして一緒に楽しい時間を過ごしませんか。クリスマス会などにはレクリエーションも行ます。憩いの場として多くのかたのご参加をお待ちしています。



あなたの思いやりとやさしさを地域の高齢者にお届けしてみませんか!

令和4年度“あさひ生活応援サポーター養成講座”のご案内

参加費
無料

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

本会では、地域の高齢者のちょっとした困りごとを手助けする生活応援サポーターを養成するため、下表のとおり講座を開催します。どなたでも受講できますので、ぜひご参加ください。なお、生活応援サポーターの登録は任意です。

開催回			第16回	第17回
内容及び開催日等	1 回	【趣旨説明】	10月6日(木)	令和5年2月2日(木)
		【活動発表】		
		【交流会】		
	2 回	【講義1】	10月13日(木)	令和5年2月9日(木)
		【講義2】		
	3 回	【講義3】	10月20日(木)	令和5年2月16日(木)
		【修了式】		
各開催回の申込受付期間			6月3日(金)から 9月29日(木)まで	9月30日(金)から 令和5年1月26日(木)まで

会場 保健福祉センター4階シアタールーム

開催時間 午前10時～正午

定員 先着15人

申し込み方法 社会福祉協議会に電話または直接

【申し込み及び問い合わせ先】生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川) TEL 55-7071(直通)

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

福祉マインドフェア尾張旭2022を開催します

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

福祉マインドフェア尾張旭は、市内で活躍しているボランティア連絡協議会加入団体やボランティア登録団体などが一堂に会し、福祉活動の紹介や発表をとおして、ボランティア活動の楽しさを体験していただける福祉イベントとして、毎年開催していました。

令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止していましたが、今年度は規模を縮小し開催します。

当日は、市内で活躍しているボランティア団体や福祉施設などを紹介するパネル展示を行うほか、福祉バザーを行います。

当日は新型コロナウイルス感染症対策を実施し、皆様のご来場を心よりお待ちしております。



▲福祉マインドフェア2019パネル展示の様子



と き

8月6日(土)午前10時～12時

ところ

渋川福祉センター

※催し物の詳細は市の広報(8月1日号)と同時に配布のチラシをご覧ください

ボランティア活動の応援～バザー用品のご提供を～

福祉マインドフェアではボランティア団体の活動を推進することを目的に福祉バザーを開催します。皆様のご家庭で眠っている雑貨・タオル・石鹸類・陶器類など(いずれも新品に限る)を、ぜひご提供ください。ただし、食品についてはお断りさせていただきます。

- 受付期限 7月29日(金)まで ※土・日曜日、祝日を除く
- 受付場所 社会福祉協議会または渋川ボランティアセンター
- 受付時間 社会福祉協議会 午前8時30分～午後5時
渋川ボランティアセンター 午前9時～午後5時



▲福祉マインドフェア2019バザーの様子

ボランティアサロンのご案内

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をされているかたを対象に「ボランティアサロン」を右表のとおり毎月1回開催しています。この機会にぜひボランティア活動に触れてみませんか。なお定員を超えた場合は抽選になりますので、ご了承ください。

○申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

〈8月・9月・10月のボランティアサロン〉

と き	8月17日(水) 午後2時～3時30分	9月16日(金) 午前10時～11時30分	10月13日(木) 午後1時30分～2時30分
ところ	渋川福祉センター 3階 運動室	渋川福祉センター 1階 集会室	渋川福祉センター 1階 ボランティア室
内 容	じいじと「つくって」 あそぼ!!	ようこそ!おもちゃの城へ ～おもちゃ図書館 ボランティアってなあに?～	毎日の食卓から SDGs
講 師	男性ボランティア 活動研究会	おもちゃ図書館 ボランティア ぽっけ	尾張旭市健康づくり 食生活改善協議会
参加費	1人200円	無料	無料
定 員	30人	15人	10人

ボランティア保険のご案内

ボランティア活動保険は、国内におけるボランティア活動中にボランティア本人がケガをした場合（病気は補償

の対象外）や、他人に対して損害を与えたことにより、損害賠償事故が発生した場合などに幅広く補償します。

また、ボランティア団体などが主催する行事参加中に参加者が事故で

ケガをした場合（熱中症・食中毒も対象）や、主催者が法律上の賠償責任を負った場合を保証する、ボランティア行事用保険もあります。ぜひご加入ください。

令和4年度尾張旭市ボランティア連絡協議会総会を開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から2年間、開催を中止していましたが尾張旭市ボランティア連絡協議会総会が5月27日（金）に渋川福祉センターくすのきホールで、開催されました。

当日は、規模を縮小し、来賓の招待や講演会は中止としましたが、加入団体から約40人が出席し、前年度の事業報告・決算、今年度の事業計画・予算などを決議しました。



▲丹羽会長のあいさつ



▲総会の様子

令和4年度ボラ連顧問・役員（敬称略）

顧問	大塚 宏子 収集グループあさがお会
会長	丹羽 睦 音訳グループあけぼの会
副会長	長谷川 裕子 日本赤十字社尾張旭市地区奉仕団
副会長	伊藤 美佐子 うさぎの会
書記	西村 由美子 手話サークルあさひ
会計	鈴木 善子 あさひ歌謡会
監査	岡本 京子 ガールスカウト愛知県第99団
監査	石井 トシ子 尾張旭市健康づくり食生活改善協議会

※任期は、令和4年度まで

令和4年度尾張旭市校区社会福祉推進連絡協議会総会を開催

尾張旭市校区社会福祉推進連絡協議会の総会が6月6日（月）に渋川福祉センターくすのきホールで、3年ぶりに開催されました。

当日は、約30人が出席し、前年度の事業報告・決算、今年度の事業計画・予算などを決議しました。

また、総会後は、東栄校区社会福祉推進協議会の大原さつき広報部長、武藤里香広報副部長、川村竹治事業副部長に『東栄校区社会福祉推進協議会活動報告』と題して、東栄校区で取り組まれている様々な

福祉事業や、地域のつながりについて発表していただきました。



▲森会長による議事の進行



▲東栄校区社協による活動報告

令和4年度校区連協役員（敬称略）

会長	森 喜美 旭丘校区社会福祉推進協議会会長
副会長	野村 治 白鳳校区社会福祉推進協議会会長
副会長	若杉 満 城山校区社会福祉推進協議会会長
副会長	森 繁美 三郷校区社会福祉推進協議会会長
書記	長岡 啓一 東栄校区社会福祉推進協議会会長
書記	塚本 恭久 渋川校区社会福祉推進協議会会長
会計	三浦 義文 旭校区社会福祉推進協議会会長
監事	佐藤 信男 本地ヶ原校区社会福祉推進協議会会長
監事	加藤 守松 瑞鳳校区社会福祉推進協議会会長

※任期は、令和4年度まで

福祉のまちづくり推進助成事業助成団体を決定

あさひ健康
マイスター
チャレンジ
対象事業

6月18日（土）に公開プレゼンテーションによる助成審査会を開催し、赤い羽根共同募金を財源とする福祉のまちづくり推進助成事業対象団体

を決定しました。

助成金は、下表のとおりこどもから高齢者まで、地域に根差した福祉活動に幅広く活用していただきます。

令和4年度 福祉のまちづくり推進助成事業 助成金額一覧表

団体名	事業名	助成金額（円）
男性ボランティア活動研究会	じいじとあそぼ	80,000円
尾張旭防災リーダー会	備災 ご高齢者を災害から守るために!	50,000円
計		130,000円

知るサポだより

No.29

～尾張旭市地域包括支援センター～

認知症家族支援 プログラムをご案内します

「認知症家族支援プログラム」は、認知症のかたを自宅で介護しているご家族のための勉強会兼交流会です。

認知症の症状には個性があり、症状の初期から中期には不安や苛立ちで怒ることが増えたり、鬱^{うつ}になるかたがみえます。一方、家族にとっては「とまどい～混乱期」と言われ、どのように関わればよいのか、不安、悩みが多く、精神的に最も大変な時期とされており、とまどいや混乱がおきやすく、大きなストレスを抱えることも少なくありません。

こうしたご家族の手助けとなるよう、介護に必要な知識の取得、仲間づくり、個別相談などの支援を行うプログラムが、「認知症家族支援プログラム」です。地域で活躍する介護の専門職が講師を担当し、丁寧でわかりやすい内容となっています。

このプログラムは、「認知症のひとと家族の会 愛知県支部(ハートTOハート)」が開催するもので、盛りだくさんのプログラムにじっくりと関わる時間を持てるよう、次表のとおり計6回の構成となっています。今後の介護にプラスになることが期待されますので、認知症のかたの介護でお悩みのかたは、受講されますようご案内します。

また、基本的にすべてのプログラムを受講することが条件となりますので、これまでに参加された受講者の中には、もれなく受講できるよう受講時にデイサービス等のサービスを利用されるかたも多くみえました。介護しながらの受講は大変ですが、受講を希望される場合には、事前に担当のケアマネジャーにご相談される

ことをお勧めします。

なお、このプログラムは、毎年9月から、会場を年度ごとに尾張旭市と瀬戸市で交互に替えて開催し、どちらかの市に在住のかたが参加可能です。今年度は尾張旭市で開催しますので、ぜひ受講をご検討ください。

第1回 8月31日(水)

作ろうネットワーク

～介護者相談交流会～

第2回 9月28日(水)

学びましょう、認知症のこと

～認知症の基本的な知識～

第3回 10月19日(水)

上手に使うサービス利用

～サービスのいろいろ～

第4回 11月16日(水)

介護の仕方と介護者の心

～手帳等制度について～

第5回 11月30日(水)

寄り添ってみましょう、相手の心

～認知症の方へのリハビリ～

第6回 12月21日(水)

医者と上手に付き合おう

～医師との関わり方・薬について～

場 所 中央公民館

募集人数 15人

受講料 無料

対象者 初期から中期の認知症のかたを介護している家族(専用の受講申込書を提出してください。後日、参加決定の連絡をします。)

○申し込み及び問い合わせ先
地域包括支援センター

「瀬戸旭もーやっこネットワーク」をご紹介します

尾張旭市と瀬戸市にある医療・介護・福祉などの在宅医療に関わる事業者は、迅速に情報共有できるよう

TEL 55-0654(直通)

に、在宅医療・介護・福祉統合するオンラインシステム「瀬戸旭もーやっこネットワーク」でつながっています。

このネットワークに、支援を行う対象者を登録し、医療関係者(医師、歯科医師、薬剤師、看護師等)、介護関係者(ケアマネジャー、介護福祉士、社会福祉士等)、行政などを交えた支援チームを作ることで、対象者に関わる様々な情報のやり取りをタイムラグ無しに行えます。画像や動画のアップロードも可能なので、より詳細で確実な患者状況の伝達・把握に役立ちます。

登録する際には、あらかじめ本人や家族の同意をいただいております。このネットワークは、登録を許可された関係者以外は見ることはできないため、個人情報を守られています。

瀬戸旭医師会や近隣の病院、行政関係、各種事業者との情報交換や研修開催のお知らせなど、情報の内容は多岐にわたり、業務をすすめるうえでも大変役に立っています。

このネットワークが今のように定着するまでには多くのかたの苦労や努力がありましたが、今後も有効に利用し、在宅医療や介護がスムーズに行われるようにしていきたいと思います。

4月から地域相談窓口の 担当地区が変更になりました

尾張旭市は地域包括支援センターのほかに、地域相談窓口を3か所設置しています。

地域相談窓口は身近な相談機関として、介護・保健・福祉サービスに関する相談に乗るとともに、担当地区の高齢者実態把握調査を行っています。この調査は、自らの高齢期において健やかで充実した生活を営むことができるように、また介護予防、生活支援また

は家族介護支援のサービスを適切に利用することができるように、対象となる皆さんの心身の状態やそのご家族の状況などを把握することを目的としています。なお、この調査で知れた個人情報、介護予防や生活支援などに活用させていただくほかには、地域包括支援センターと地域相談窓口が厳重に保管し、決して公表

されることはありません。訪問や電話、アンケートの返送などでの調査にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

調査の結果、より専門的な対応(訪問や面接での詳しい状況確認、危機介入、継続的な関わり、事例ごとに対応できるチーム編成など)が必要なかたにつきましては、地域包括支援セン

ターが支援していきます。地域包括支援センターでは毎月約80件の新規相談を受け付け、専門職(主任介護支援専門員・保健師・看護師・社会福祉士)がそれぞれ対応にあたっています。

高齢者の困りごとは地域相談窓口、地域包括支援センターのどちらに相談いただいてもかまいません。ご連絡をお待ちしています。

地域相談窓口	住所	電話番号	担当地区
敬愛園	尾張旭市平子町長池上6447番地1 (特別養護老人ホーム敬愛園内)	53-9507	旭・城山・白鳳 小学校区
アメニティあさひ	尾張旭市旭ヶ丘町濁池1155番地18 (特別養護老人ホームアメニティあさひ内)	51-5222	東栄・旭丘 三郷 小学校区
サンヴェール尾張旭	尾張旭市南栄町黒石48番地1 (特別養護老人ホームサンヴェール尾張旭内)	52-2992	渋川 本地原・瑞鳳 小学校区

敬老肖像写真を贈呈します

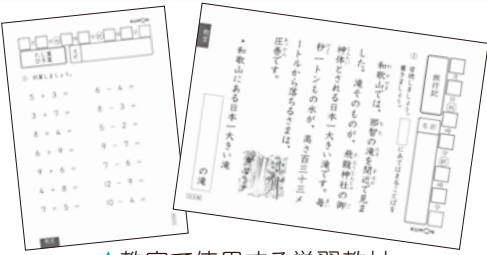


▲昨年贈呈した岡本様ご夫妻
赤い羽根共同募金配分金事業の一つとして、長寿を祝い、敬老の日に合わせて肖像写真を贈ります。
○申し込み及び問い合わせ先
社会福祉協議会

対象者や写真内容など					
対 象	①昭和7年生まれで今年満90歳を迎えるかた ②どちらかが昭和17年生まれで今年満80歳を迎え、二人とも80歳以上となられるご夫婦 ※市内に居住し、①②ともにご自宅で写真撮影可能なかたに限りします。				
写真内容	①の対象者 四つ切りサイズ(25.4cm×30.5cm)・カラー・アルミ製額 ②の対象者 半切サイズ(35.6cm×43.2cm)・カラー・アルミ製額				
実施方法	8月中旬に自宅にて撮影し、「敬老の日」までにお届けします。				
費 用	無料	申し込み 方 法	電話または 直接	申し込み 期 限	7月29日(金) ※土・日曜日、祝日 を除く

脳トレで認知症予防「脳の健康教室」でらくらく楽習 今年度も水曜日に開催!

東北大学加齢医学研究所所長川島隆太氏が提唱する「読み書き」「計算」「すうじ盤」の教材を使った脳の健康教室を開催します。
脳のリフレッシュのため、教材を利用した学習だけでなく、毎回教室サポーターによるおもてなしと交流会もあります。
皆様のご参加をお待ちしています。



▲教室で使用する学習教材



「すうじ盤」で脳を活性化

と き	9月28日(水)～令和5年2月8日(水)毎週水曜日(全18回) 午前10時～11時30分 ※11月23日(水)、1月4日(水)を除く		
と こ ろ	尾張旭市保健福祉センター(シアタールーム)		
内 容	「読み書き」「計算」「すうじ盤」や教室サポーターによるおもてなしと交流		
対 象 者	市内在住の65歳以上のかた	定 員	先着15人
参 加 費	8,800円(月額2,200円×4か月)		
申し込み方法	社会福祉協議会に電話または直接	申し込み期限	9月15日(木)まで ※土・日曜日、祝日を除く
そ の 他	ご自身の変化を確認していただくため、受講前と1月の教室時間内に、脳の健康チェックテスト「あたまの元気まる」を受験していただきます。		

赤い羽根協力店を募集します

10月1日から始まる赤い羽根共同募金の一環として、募金箱の設置などにより、募金活動にご協力いただける「赤い羽根協力店」を募集しています。

○ご協力いただく内容

- ①募金箱を年間通して設置
- ②店頭「協力店」のステッカーを表示
- ③10月1日から翌年3月31日までの共同募金期間中にポスターを掲示

○申し込み及び問い合わせ先 尾張旭市共同募金委員会 Tel.54-4540



ステッカー



募金箱

赤い羽根協力店の紹介 (順不同・敬称略)

現在、ご協力いただいています協力店は次の店舗です。

【旭前町】

- ・竹亭
- ・イーストヒル

【新居町】

- ・四季亭 尾張旭店
- ・かつ星
- ・ピッツェリア・マリノ 尾張旭店
- ・珈琲屋らんぷ 尾張旭店

【印場元町】

- ・かつ雅 尾張旭店
- ・喫茶 棒の手
- ・諭吉のからあげ 名古屋本店

【上の山町】

- ・鈴松 本店

【大字新居】

- ・ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場

【柏井町】

- ・さもと館

【北原山町】

- ・金寿司

【北本地ヶ原町】

- ・台湾料理萬来館 晴丘店

【三郷町】

- ・秋田屋呉服店
- ・有限会社 サカエ

【渋川町】

- ・ハンプティ―・ダンプティ―
- ・ベッセル
- ・南風 尾張旭店

【城山町】

- ・旭城レストハウス

【瀬戸川町】

・ジョブウェル

【東栄町】

- ・モスバーガー 旭三郷店
- ・ル・モンド

【西大道町】

- ・活人堂

【西山町】

- ・英 四軒家店

【東大道町】

- ・あいち尾東農業協同組合 尾張旭グリーンセンター
- ・カメヤマ酒店
- ・おり紙・和紙の店 ふた美
- ・カフェ&パスタ パパス
- ・台湾料理萬来館 本店
- ・ぱんやさんkiki
- ・コメダ珈琲店 尾張旭店
- ・ベーカリーレストランサンマルク 尾張旭店

【東本地ヶ原町】

- ・江戸芝鮎

【南新町】

- ・喫茶 サーモン

【南本地ヶ原町】

- ・高砂ベルシュ
- ・ゆで作

【東大久手町】

- ・支留比亞珈琲店 森林公園通り店

こんなとき、こんなお金をぜひ、社会福祉協議会へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部
- 同窓会等の残金、各種チャリティーバザー

善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられました。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

■一般寄付

3月8日～6月21日 (順不同)

寄付者名/寄付金額(単位:円)	
尾張旭市ゴルフ協会 様	67,000
東邦冷熱工業株式会社 様	100,000
尾張旭市シニアクラブ連合会女性部 様	51,399
シニアクラブ本地ヶ原白寿会 様	75,657
名古屋ヤクルト販売株式会社 様	36,211
平成6年稲葉地区厄年会 様	13,748
尾張旭さつき愛好会・尾張旭盆栽会 様	81,869
旭フォークダンス同好会 様	10,000
尾張旭市民生委員児童委員協議会 様	70,260
保護司・更女退任者有志の会 様	20,903
匿名(6件)	528,955

■物品寄付

寄付者名/物品名・数量	
栞原 匡 様(城山町)	紙おむつ42袋
イトーヨーカドー尾張旭店 様	雑貨18点
保護司・更女退任者有志の会 様	84円切手24枚
匿名(11件)	紙おむつ46袋、尿とりパッド14袋、車いす2台、雑貨

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染症に伴う社会福祉協議会(関係団体含む)の事業について

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、できる限りの対策を講じながら各種事業を行います。今後の状況の変化によっては内容を変更する場合や、開催を延期または中止する場合がありますので予めご承知おきください。

※記載の内容は記事編集時点でのものです。最新の情報は、本会ホームページをご覧ください。

「社協だより 尾張あさひ」 〔広告掲載のご案内〕

社会福祉協議会の広報紙「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?

令和4年度秋号(10月発行)に掲載の広告を募集します。

問い合わせ先 社会福祉協議会 電話 54-4540